

輸出事業計画

※申請者名：ヤマモリ株式会社、
品目：醤油・調味料・レトルト食品

1. 輸出における現状と課題

【経緯】

- ・明治22年に創業し、醤油・つゆ・たれ・レトルトパウチ食品等の製造販売を行っている。
- ・三重県内に3つの工場を保有しており、全国に支社や支店、営業所がある。
- ・タイ国内に現地法人3社（販売会社1社、工場2社）、ベトナム国内に1社（販売会社）がある。

【現状】

- ・国内からは、醤油をはじめ、醤油に付加価値を付けた商品としたつゆ・たれ類、レトルトパウチ食品等を製造しており、これら幅広い商品群より12か国以上に輸出している。
- ・タイ国内事業所からは、アセアンを中心として20か国以上にタイ現地工場で生産した醤油や調味料を輸出している。
- ・商社機能を持ち現地販売会社がある点を活用し、自社商品に加え、即食性のある商品を中心に現地の多様なニーズに即した輸出向け商品の取扱い拡大に取り組む。

【課題】

- ・各国の輸入規制原料へ対応
- ・付加価値商品として多様な人種、健康志向などのニーズへの対応
- ・商品ラベルや販促物の多言語対応
- ・現地パートナーとの関係構築

2. 輸出事業計画の取組内容

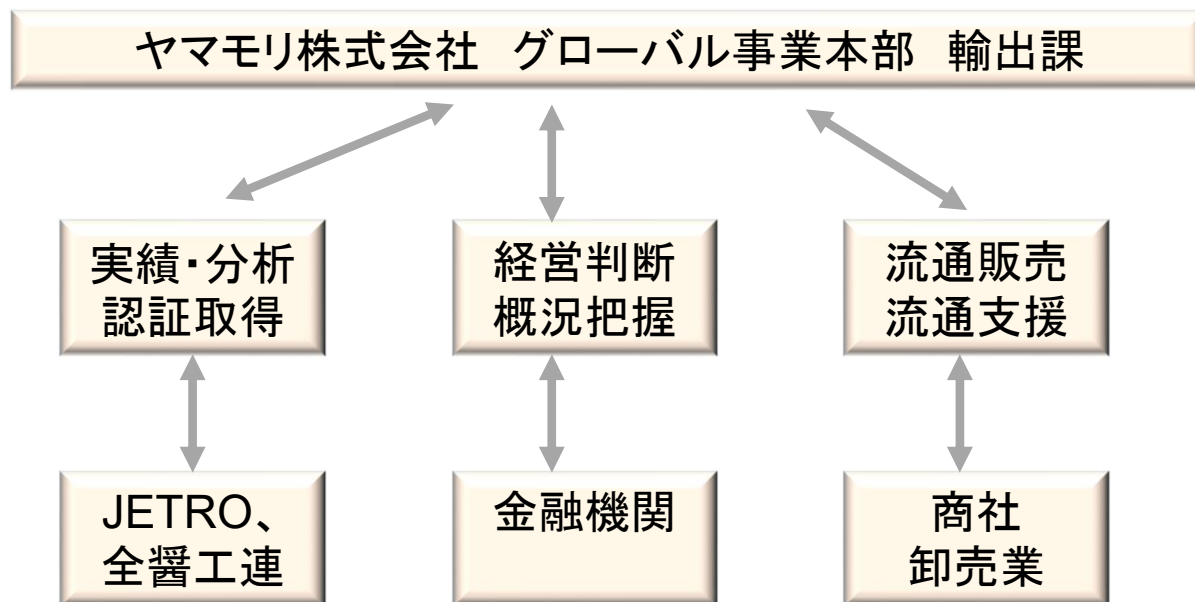
【計画】

- ・各国の輸入規制原料への十分な理解と商品設計
- ・付加価値商品として健康志向のオーガニックやハラール、コーシャなどに対応した商品開発
- ・多言語対応の商品ラベルや販促物などの対応強化
- ・現地パートナーとの連携や販促イベント実施

輸出事業計画

※申請者名：ヤマモリ株式会社、
品目：醤油・調味料・レトルト食品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



- ・JETROや全醤工連、取引先金融機関、輸出商社や卸売業等を通じ、輸出国からの市場動向・規制等の情報収集を行い、役割分担をすることで輸出事業計画を進める
- ・展示会や商談会に参加し、直接輸出商談の機会を得る
- ・輸出国からのヒアリングを行い自社商品の評価とニーズを把握し、必要に応じた計画修正の実施。輸出相手先国向けの新商品を開発する。

4. 輸出目標額

輸出品目：醤油

	現状（令和7年度）	目標年（令和10年度）
輸出額(千円)	5,000	50,000
主な輸出先国	台湾,香港,タイ	台湾,香港,タイ,アメリカ

輸出品目：調味料

	現状（令和7年度）	目標年（令和10年度）
輸出額(千円)	45,000	80,000
主な輸出先国	台湾,香港,タイ	台湾,香港,タイ,アメリカ

輸出品目：レトルト食品

	現状（令和7年度）	目標年（令和10年度）
輸出額(千円)	3,500	10,000
主な輸出先国	台湾,香港,タイ	台湾,香港,タイ,アメリカ

輸出事業計画**※申請者名：ヤマモリ株式会社、
品目：醤油・調味料・レトルト食品****4. 輸出目標額****輸出品目：インスタント麺**

	現状（令和7年度）	目標年（令和10年度）
輸出額(千円)	500	1,500
主な輸出先国	タイ	タイ

輸出品目：菓子

	現状（令和7年度）	目標年（令和10年度）
輸出額(千円)	400	1,500
主な輸出先国	タイ	タイ